



ほうない

6年生 佐渡の修学旅行 ～10月29日(木)・30日(金)～



第8号
 村上市立保内小学校
強い力 豊かな心
 〒959-3107
 村上市下鍛冶屋264-2
 TEL0254-62-2302
 FAX0254-62-5553

もどりつつある新しい日常

校長 須貝 学

台風接近の影響を受けた猛烈なだしの風の中、保内小学校の運動会を10月10日に無事行うことができました。

強風と寒さを避けるために、開閉会式やメロディーズの演奏の場所を急遽体育館に移動しました。地域・保護者の皆さんには、予定外の動きにもかかわらず、円滑に対応していただき、誠にありがとうございました。

子どもたちの活躍する姿にも大変感心いたしました。練習していない体育館での開閉会式やラジオ体操に柔軟に対応して動いていました。応援パフォーマンスでも、練習してきたことは違う順番や内容になっても、リーダーの指示を聞いて正確に動くことができました。

そして、あの強風の中を風上に向かって、全力で走り切る姿にはとても感動しました。どうしてこんなに苦しい状況なのに、あんなにがんばれるのだろうかと驚くばかりでした。

さて先週の10月29日と30日には6年生が佐渡への修学旅行に行ってきました。カーフェリーや観光バスの乗り物も行く先々の観光施設も、手指消毒や入念な感染防止対策を取り入れながら、これまでのように温かく迎えてくださいました。運動会も修学旅行も実施が困難な状況の中でしたが、様々な立場の人の工夫や努力とアイデアによって、新しい形で行われました。

新型コロナウイルスの感染はまだまだ収束の見通しが立たず、学校においても感染防止対策を緩めることができない状況にあります。それでも「新しい生活様式」に基づいた社会全体の動きと同じように、学校生活においても、これまでとは違う形の日常がもどりつつあります。社会全体がそうであるように、従前のものとは違う、新しいスタイルや内容の学校生活を探っていくかなければならないことを強く感じています。